

## 平成 29 年度東京都公民館連絡協議会委員部会 第 6 回運営委員会記録

小平市公民館運営審議会委員 高橋雅子

日 時 平成 29 年 9 月 2 日（土）12 時 10 分～13 時 20 分

場 所 昭島市市民交流センター

出席者 昭島市（大澤）、町田市（白崎・記録）、小金井市（菅沼）、小平市（高橋）、  
日野市（畔上）、国分寺市（高塚）、国立市（大井）、福生市（渡部）、  
西東京市（伊尻）、狛江市（馬場）、東大和市（新井）、事務局（遠藤）、敬称略

配布資料 1.レジメ「都公連委員部会第 6 回会議 昭島市 9 月 2 日（土）大澤」  
2. 53 回開催内容のコピー（1 面）、課題別集会テーマ等（2 面）  
3.平成 29 年度都公連委員部会運営委員会第 5 回議事録（案）

<開会>

前回記録（第 5 回）原案通り承認。 今回記録（第 6 回）町田市。

<議題>

### 1. 第 1 回委員部会研修会の反省会—感想について—

永田先生のご講演は、戦後の“公民館活動を捉えた写真”を振り返りながら、公民館が果たしてきた役割の説明があって、とてもわかりやすかった（その場に居るみたいな話だった）。永田先生を選んでよかったというのが委員部会の感想だった。委員から出された主な感想は、

- ・公民館の話をも第三者的な見方で、内容というものを確認できたという感じ。
- ・文部省指導であそこまでいった。当初の目的は一緒だったのが今は離れてきた。苦戦している理由になっている。
- ・知識的には戦後の公民館の話は聞いたことがあると思うが、ちょっと角度を変えた先生の見方ですごく分かりやすかった。先生を選んでよかった（各委員同意）。新鮮な感じがした。（大半の人はいいと思っている）
- ・写真の力はすごい。すごく伝わってくる。
- ・資料に載っていないシートが 2 枚あった（そのシートの内容を記録に残す）。
- ・事実から掘り起こすというのは、現場を体験してきた人からいうとわかりやすい話だった。そういう講師は貴重だ。
- ・公民館が女性の社会進出にすごく貢献してきた。
- ・過去の努力を忘れて安住して進んできたのではないか。
- ・「よく聴きよく見てよく選べ」はこれからもみんなに言いたいぐらいの選挙の言葉だった。
- ・2 つの例は、村の課題・町の課題をその地区の公民館が取り上げた。昔はそういう視点でいた。関ブロで公民館の役割について先生から 3 卓で手をあげさせられ、8 割の人が「カルチャーセンターみたいなもの」に手をあげていたのにびっくりした。

## 2. 第2回委員部会研修会について

### (1) 企画委員会への報告（～9月14日）について

8月29日狛江市にて企画委員会があつて、9月14日までに「課題別集会名・討議内容・事例報告者名・助言者名」を報告することになった。

事例発表が4市では多すぎないかとの意見があつた。助言者について伊東顧問に助言を求めたところ、東京学芸大学准教授倉持伸江氏（地域教育支援の専門家）の推薦があつた。

上記について大澤会長からレジメに書かれたような提案があつて、話し合った結果は次のとおり。これを9/14までに企画委員会事務局に報告する。

a. 課題別集会名 「公民館と地域の結び付きを考える」

b. 討議内容

14日前に助言者の先生と会えればこまかい文章含めてどう進めるか相談してみる。会えなかったらこのまま出してしまつて、

こまかいところは先生に会ってから、10月以降の会議でつめていく。

c. 事例発表は3市（福生市・昭島市・西東京市）にする。町田市を外す。時間に余裕を持たせる。

d. 助言者 東京学芸大学准教授倉持伸江氏とする。

先生のご都合が合わない場合は、誰にするか事務局に一任する。

### (2) 上記項目（1）の話し合いで出た主な意見

a. タイムスケジュールと先生からの助言について

<案> 前半1.5時間（助言者30分、事例発表3市で40～45分、休憩10分）

後半2.0時間（グループ討議と各班から一言でも発表してもらう）

助言者のまとめなし

<意見>・助言者の話は始めでなく事例発表を聞いたあとに課題を出してもらったらどうか。

・グループ討議のあとに助言者のまとめが欲しい。

・各班からの一言は、結論は難しい。こういう話が出たでよい。

交流の意味もあるので。

b. グループ討議

<案> 1グループ10人以内を想定している。

<意見>・10人は多い、昨年と同様参加者を上限40人でお願いしたらどうか。

次回日程 10月25日（水）午後2時～4時 昭島市公民館 第2会議室（3階）

## 平成 29 年度 都公連委員部会運営委員会第 7 回議事録

小平市公民館運営審議会委員 高橋雅子

日時 平成 29 年 10 月 25 日(水)14:00-16:00

場所 昭島市公民館 3 階第 2 会議室

出席者：昭島市(大澤)、町田市(白崎)、小金井市(菅沼)、小平市(高橋)、日野市(畔上)、国分寺市(高塚)、国立市(大井)、狛江市(馬場)、福生市(渡部)、西東京市(井尻)、東大和市(新井)、事務局(遠藤)

### 1 開会

#### (1) 前回議事録の確認

資料 1：第 6 回議事録の確認 黙読後承認

(第 1 回研修会(9 月 2 日)の永田浩三先生の「戦後の公民館活動を捕らえた写真」を振りかえりながらの講演は、戦後の公民館の果たしてきた役割の説明があり参加者も多く、評判も良かった。)

参考資料添付

資料 2：講演の写真とともに先生の話の骨子を新井委員がまとめた資料

資料 3：参加者アンケート集計

#### (2) 今回の議事録作成者 菅沼 承認

### 2 本日の議題

#### (1) 研修会のお知らせ 資料 4：別紙チラシ参照

締め切りは、10 月 24 日となっているが、まだ可能と思われる。できるだけ PR してほしい

#### (2) 第 2 回都公連(東京都公民館研究大会)について

(資料 5：都公連委員部会第 7 回会議資料にもとづき、説明)

平成 30 年 2 月 3, 4 日に行われる研究大会の当委員会担当の第 4 分科会への取り組みを協議した。

講師：倉持伸江氏(東京学芸大学准教授)

課題別集会名 地域と公民館を結び付ける地域学習を考える

事例発表 昭島市、西東京市、福生市

- ・事前に、倉持先生と、大沢、白崎、遠藤で打ち合わせ。
- ・グループ討議で、何を話し合いたいか、何を持ち帰りたいかを具体的に考えてほしいとの宿題が出され、これについての意見交換をした。

意見例：・白崎委員より資料 7「なかの生涯学習大学」での進め方が紹介された事例発表では、地域の課題、未来像、取り組み、結果、ポイント、もとに戻らないためにについて触れる。

- ・昭島市の案:資料 8 発表フローチャート紹介

- ・地域の課題について各市が取り組んでいることを聞きたい、それを持ち帰りたい。
- ・個人の勉強にとどまらず、地域の担い手を育てる事例としたい。等々の意見が出された。

宿題：次回、グループ何を話し合いたいか、何を持ち帰りたいかについての考えを皆で持ち寄り討議する。場合によっては、模擬グループ討議をする。

### 3 情報交換

#### (1) 公民館運営審議会の構成等について

資料 9 東京都中央民間連絡協議会委員部会調査結果まとめおよび前回、今回提出の資料をベースに、前回の続きの報告、議論をした。

今回報告

狛江市 10 人、内訳は、学識経験者、社会教育、学校教育課程教育、公募 6 人

西東京市 14 人以内、6 館からの代表 6 人、学校 2 人、民生、児童委員 2 人、学識経験者 2 人

東大和市 12 人以内 学校、社会教育 9 人(公民館代表 5、文化 1,PTA1、社会教育 1、中学校 1) 学識経験者 1 人、家庭教育 1 人

福生市 10 人以内 学校、社会教育 1 人、公民館代表 2+2 人、文化、社協 1 人、学識経験者 1 人、公募 2 人

以上の如く、市による考え方の違いがあるが、10 人を超える人数は多すぎるのではないか、公募市民 6 人は多すぎないか等の意見が出された。

#### (2) 公民館事業の評価について

資料 10 昭島市:平成 28 年度公民館事業報告書

町田市:第 13 回生涯学習センター運営協議会上半期事業報告書

小金井市:公民館事業の評価について

国立市:都公連委員部会質問と国立市公民館活動

事務事業マネジメント

日野市:情報交換資料の裏面

福生市:事業計画書、

東京三多摩の公民館における評価実践の現状と課題

西東京市:西東京市の事業評価

東大和市:平成 29 年度事業計画 平成 28 年度事業報告

上記資料の説明と質疑あり

各市により取り組みに大きな隔たりがあるが、効果のある評価、事業評価項目の内容、簡素化等検討中の市が多い。また、結果の評価だけでなく、企画段階での検討審査が必要でないかとの意見あり。

今回未提出の市は次回に提出、続きは次回、時間切れ

\*各市のパンフレット等の配布多数あり。個々の記載は省略しました。